

磐梯山ジオパーク：イントロ

磐梯山ジオパークは磐梯朝日国立公園内と猪苗代湖周辺を取り囲んだ場所となっており、その地質・地形の重要性で知られています。これらには、標高 1,816 メートルの成層火山である磐梯山も含まれます。この山の形は 806 年と 1888 年の 2 回の大噴火によって変わりました。後者は周囲の景観を劇的に変え、地元コミュニティに壊滅的な影響を与えました。教育、保全、持続可能な開発を通じてこの地域の天然資源の保護と管理を支援するため、2011 年に磐梯山ジオパークが設立されました。北塩原村、磐梯町、猪苗代町はジオパーク内にあり、地元コミュニティが公園活動に積極的な役割を果たしています。

磐梯山ジオパークは 2009 年に設立された非営利団体日本ジオパークネットワーク（JGN）の一部です。ジオパーク内には 200 を超える自然的、歴史的、文化的に重要な場所があり、レンジャーやその他のスタッフが磐梯朝日国立公園と協力してそれらの保全に取り組んでいます。また、ジオパークのスタッフは地元の学校に教育プログラムを提供し、関連する自治体全体での保存活動を促進しています。

日本ジオパークネットワークは 2015 年に設立されたユネスコ世界ジオパークと同じ指導原則と認定基準に基づいて運営されています。磐梯山ジオパークは、その山、湿地、湖を通して地域の地質学的・文化的歴史を記録しており、また若い世代が持続可能な未来を確保できるよう、教育の機会も与えています。